

社会で活躍する大先輩

加藤恭子ゼミ C班 飯島、重田、渡邊

☆はじめに☆

今回、私たちが二十歳の頃に取り組むにあたって目標にしたことは「大企業のトップの方にインタビューをしたい」ということでした。

さらに私たちは、今の自分たちが参考にすべきは同じ大学で大学生活を送っていた卒業生の方であると考えました。

そこで私たちの要望に快く応えてくださったのが積水ハウス常任監査役の岩崎正さんでした。

☆岩崎正さんについて☆

岩崎正さんは日本大学経済学部産業経営学科を卒業なさった私たちの大先輩です。昭和42年に大学を卒業なさって、同年積水ハウスに入社いたしました。

「ウチらみたいなサービス業は、お客様と会わんことには話にならんからな」と、人と接すること自体を何よりも大切に「相手の気持ちを理解する」ということを常に念頭に置き、お仕事をなさっているそうです。

☆インタビュー内容☆

→岩崎さんの学生生活

積水ハウスの副社長にまで上り詰めた岩崎さんの大学生活は、意外にも「勉強一色」というわけではなかったようです。むしろ大いに遊ぶことを満喫し、有意義な大学生活を送っていました。

→岩崎さんの社会人生活

大学を卒業し、社会人となった岩崎さんの社会人生活は学生生活とは一変し、「仕事一色」となります。就職してからの三年間は、本当に一生懸命仕事に打ち込んだそうです。このことは、岩崎さんの良い思い出として今でも心の中に残っているそうです。

→岩崎さんから見た現代の社会、昔の社会

現代の社会について岩崎さんは、「とにかく今の社会は狂っている！！」とおっしゃっていました。昔の社会には人間の心の温かさがあったといいます。「日本の急激な経済的成長が家庭環境などに変化をもたらしたのではないか！？」と岩崎さんはおっしゃっていました。

☆就職活動、大学生活についてのアドバイス☆

就職活動に必要なこととして、2つのアドバイスをいただきました。

一・自分の志望する企業についてしっかり調べておくこと

二・面接で相手の印象に残るようなことを言うこと

そして大学生活を充実したものにする為のアドバイスもいただきました。

貪欲に！

積極的に！

知ること！

お金の大切さをしっかり身につけること！

親への感謝の気持ちを大切に！

これらの言葉を岩崎さんは私たちに投げかけてくださいました。

☆終わりに☆

取りかかった当初は不安でいっぱいでしたが、発表を終えるまで班員全員で力を合わせて取り組むことができました。

そして今回、この企画を通して私たちは「チームワーク」への無限の可能性を感じることができました。同時に組織内の雰囲気がいかに大切か、その重要度を改めて実感させられました。

最後に多忙なスケジュールの中インタビューに応じてくださった岩崎さんに深く感謝の意を示したいと思います。岩崎さんからお話を聞いたことで、これからの大学生活が如何に貴重な時間かというのを改めて認識することができました。ありがとうございました。

これからの大学生活に岩崎さんのアドバイスを早速生かしていきたいと思っています。